

#### 4．室蘭グリーンエネルギータウンの目指す姿

##### (1) 室蘭グリーンエネルギータウンの目指す姿

室蘭市は、環境産業都市ならではの地元企業や室蘭工業大学をはじめとする研究機関等の技術シーズの実装や新たな技術の開発、未利用・副生エネルギーのさらなる有効利用を進めるとともに、市民の関心の高い寒冷地ならではの暖房対策に資する省エネルギー対策の推進により、地域の再生可能・未利用エネルギー等を最大限活用し、地域で必要なエネルギーを創り利用するエネルギーの地産地消を実現した室蘭グリーンエネルギータウンの構築を目指します。

当面は、事業性が期待できる再生可能・未利用エネルギー等事業の実施や、水素利用社会の構築に向けたインフラ整備等を推進するとともに、水素関連の技術開発やモデル実証の実施を目指します。また、市民の意識向上を図るための省エネルギー対策を推進します。

将来的には、再生可能・未利用エネルギーや水素エネルギーの導入拡大を進めるとともに、再生可能・未利用エネルギーの安定供給の難しさを、その余剰電力等による水素製造及び水素発電と組み合わせることで、エネルギーの需要に応じた供給を可能とするエネルギーマネジメントシステム<sup>10</sup>の構築を図ります。また、より安価で多量の水素エネルギーの確保が期待される海外からの輸入や、道内への水素エネルギーの供給、大規模水素発電事業による電力供給などの実現を目指します。

これらのグリーンエネルギータウンの実現に向けて必要となる事業の運営主体として、新たな地域におけるエネルギー供給事業（地域 PPS<sup>11</sup>）の立ち上げと実現を目指します。

##### (2) 室蘭グリーンエネルギータウンの実現により期待される効果

室蘭グリーンエネルギータウンが実現することにより、以下の効果が期待されます。

環境産業都市としての新たな成長基盤の創出により、企業活動の拡大や新規企業の立地、就業人口の増加、大学や企業の研究活動の活性化等による交流人口の増加など地域経済の活性化につながります。

###### 大学

- ・必要な部材やシステム等の基礎研究の機会の増加
- ・企業との共同研究開発機会の増加
- ・先進的な研究の推進による認知度の向上 など

###### 企業

- ・必要な部材やシステム等の技術開発の機会の増加
- ・新たに開発した部材やシステム等の販売・供給などによる地域経済の活性化
- ・関連企業等の新規立地 など

###### 行政・支援機関

- ・関連する事業実施や人口の増加等による地域経済の活性化 など

北海道の次代のエネルギー社会構築に向け、エネルギーの地産地消や水素利用など、新たな地域でのエネルギーの需給のあり方を提言するモデル実証を積極的に進め、先導的役割を担います。

市民

- ・住宅等における再生可能・未利用エネルギーの活用
- ・省エネ機器等の導入促進
- ・水素を利用する機器や自動車の普及 など

商業・業務

- ・施設等における再生可能・未利用エネルギーの活用
- ・省エネ機器等の導入促進
- ・水素を利用する機器や自動車の普及 など

大学

- ・必要な部材やシステム等の基礎研究の実施
- ・企業との共同研究の実施 など

企業

- ・必要な部材やシステム等の技術開発の実施 など

行政・支援機関

- ・室蘭グリーンエネルギータウンや水素利用社会のモデル構築・実証 など

再生可能・未利用エネルギー等の利用やエネルギー消費量削減による CO<sub>2</sub> 排出量の削減による 環境負荷の低減と、地域のエネルギーを利用することでエネルギーコスト負担が抑えられ、断熱性能の強化などの対策により冬でも暖かい建物が供給されることにより、子どもからお年寄りまで、市民にやさしく住みよい低炭素都市の創造につながります。

市域全体

- ・地域 PPS からのエネルギー供給によるエネルギーコスト負担の軽減
- ・エネルギー消費量の削減による CO<sub>2</sub> 排出量の削減 など

市民

- ・住宅等における再生可能・未利用エネルギーの活用による CO<sub>2</sub> 排出量の削減
- ・住宅の断熱性能の強化や省エネ機器等の導入促進によるエネルギーコスト負担の軽減 など

商業・業務・大学・企業・行政

- ・施設等における再生可能・未利用エネルギーの活用による CO<sub>2</sub> 排出量の削減
- ・施設等の断熱性能の強化や省エネ機器等の導入促進によるエネルギーコスト負担の軽減 など

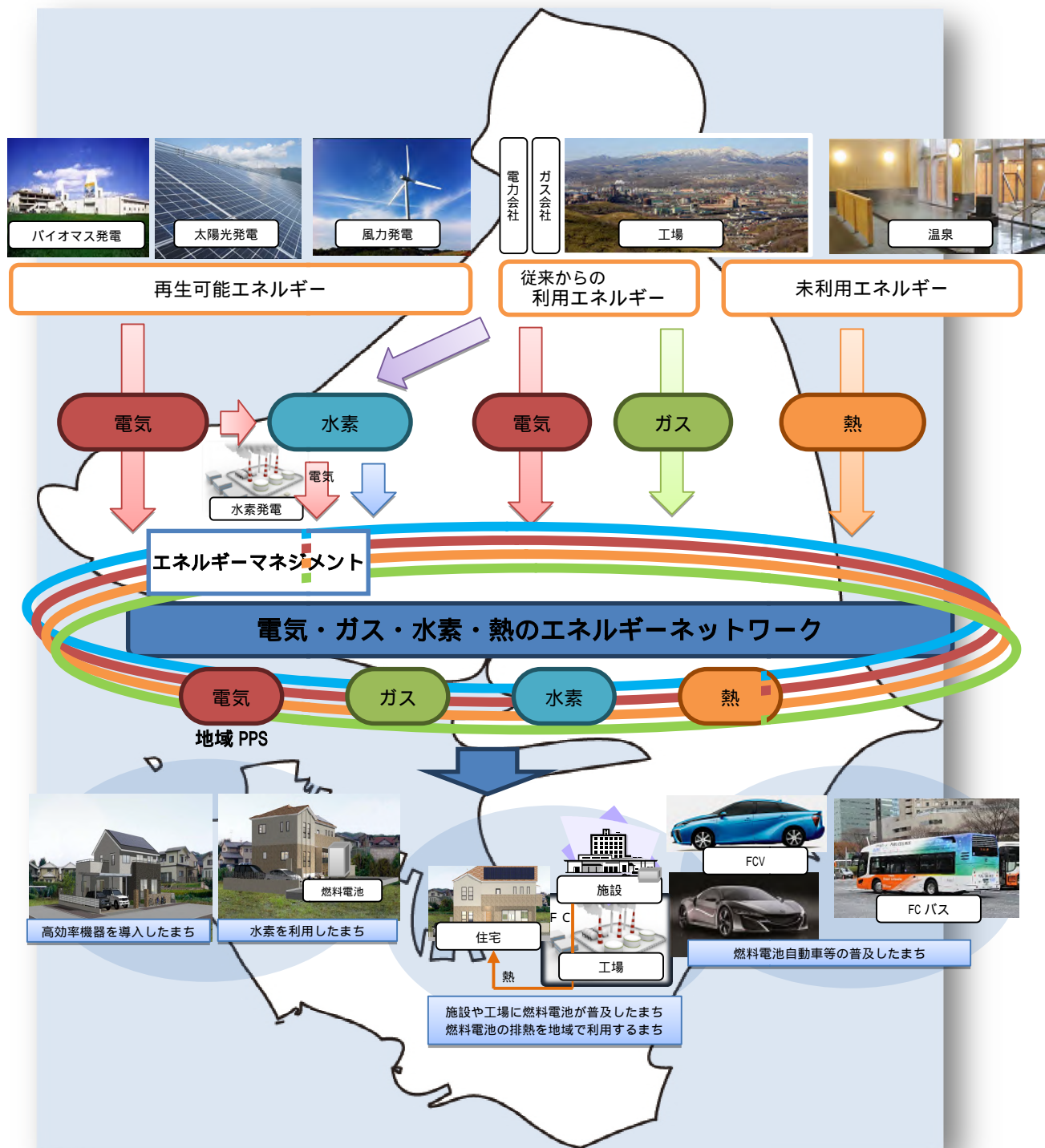


図 室蘭グリーンエネルギータウンの目指す姿